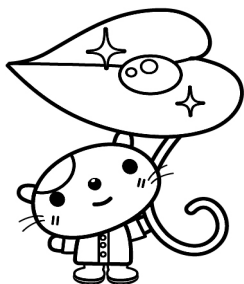


なかまのなかでゆったりと 学童保育での子育て

1000人をこえる研究集会を成功させよう!



大阪研実行委員会ニュース

No.4 2012.6.13

第44回大阪学童保育研究集会

IN サンスクエア堺+大阪健康福祉短大

ニュース係/吹田指導員

2012年6月13日(水)に、第6回大阪学童保育研究集会実行委員会が開催されました。最終打ち合わせということで話も大詰め。流れ、役割等確認していきました。そんな中、大阪市の状況が話され、学童保育をなくさないで署名に、なんと全国から37万以上もの署名が集まり、今も全国から集まり続けていると報告がありました。補助金廃止撤回されていますが、まだまだ予断を許さない状況なので、これからも運動していきましょう。

全体会で講演される早乙女先生の話の内容は、かけがえのない子どもたちの世界、学童保育を、より豊かな生活空間にということで、レジュメをいただきました。

大阪研・記念講演のレジュメ

です。みなさんにこんな話やで、って紹介してください

かけがえのない子どもたちの世界 学童保育を、より豊かな生活空間に

東京都文京区立窪町育成室 早乙女勝利

学童保育には、まだまだ実践的な課題がたくさん残されているのかもしれませんが。でも、私たちの学童保育には、先人たちの思いを受け止め・受け継いできた固有の文化と財産が残されています。そのことを、皆さんと一つ一つ確かめ合うことから、「学童保育とは何か?」という大テーマに少しずつ近づければいいなあと思っているところです。また、そのことが学童保育のさらなる発展へと結ばれてゆくことを期待します。

今日は、①学童保育の素晴らしさについて、②働く親の共同の子育ての場としての学童保育のありようについて、③指導員と保護者の関係について皆さんと一緒に考えてみたいと思っているところです。

学童保育を語り合うことで、お互いに元気になれるといいですね!

70分の長丁場となりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

はじめに

30年間働いてきて、私にもようやく見えてきたものがありました。

それは、学童保育が、親たちの理解の元、昔から子どもの三間を守り続けていたことです。

そして、今、子どもの三間を守る最後の砦になっているのかもしれない。

※三間とは 時間 空間 仲間の三つの間

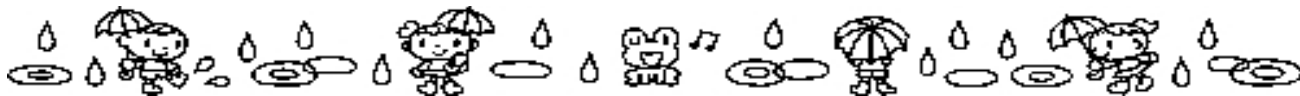
これが学童保育のよいところ!

他に類を見ない、学童保育ならではの特征(優位性)について確認してみましょう。

- ・自由に過ごせる時間と空間とが毎日の生活の中にしっかりと確保されていること
- ・子どもたちが大人(指導員)と一緒に遊べる日常を過ごしていること
- ・子どもたちが大人の価値支配から逃れたところに「子どもの世界」をつくれること
- ・子どもの声が学童保育の運営に直接反映されるということ
- ・子どもたちが異年齢集団の中で育ち合える関係にあるということ
- ・子どもの大応援団である父母の会組織(保護者会)があるということ

最後に

- ・指導員の皆さんにお願いしたいこと
- ・保護者の皆さんにお願いしたいこと



全体会は、少しでも多くの人に聞いてもらうために床に座っての講演となりますので座布団等あればいいと思います。それと、スリッパの用意も忘れずお願いします。

実技の2、3、4は募集締め切りでしたが、その他はまだまだ参加者受け付けていますので、どんどん呼びかけていきましょう!

学童ほいく誌が7月号からリニューアルしました。字が大きくなり、レイアウトがかわり、カラー写真も掲載され大変見やすくなりました。こちらもどんどん宣伝して購読数5000冊以上を目指しましょう

今後のスケジュール

6/29(金) 袋詰め作業・最終確認

7/1(日) 研究集会

6/30(土) 現地準備

7/11(水) 実行委員会まとめ会議